

所沢市立椿峰小学校 令和5年度 学校経営方針



最上位ミッション「学校に関わるすべての人を笑顔に」

～ 元気なあいさつ つば小 じまん ～

◆学校教育目標

令和5年4月3日 校長 森泉周治郎

- | | |
|-----------|---------------------------|
| 「明るい子」 | (体) 運動が大好きで、たくましい子 |
| 「がんばる子」 | (知) 主体的・探求的に人と関わり合いながら学ぶ子 |
| 「やさしい子」 | (徳) 「オアシス」行動が当たり前でできる素直な子 |
| 「のぞみつける子」 | (夢) 今を大切に未来への夢と希望を持つ子 |



◆目指す学校像 「子供発・子供着」で、幸せの花を咲かせよう

「おはよう」から「さようなら」まで 安心して学べる元気な学校

【3つのC】で、一人一人の今を、未来を大切に笑顔あふれる教育の推進

- ①「Chance：チャンス」 みんなの今が大切にされ、明日への希望に繋がる教育
- ②「Challenge：チャレンジ」 挑戦し続ける力、共に協力し乗り越えていく力を育てる教育
- ③「Change：チェンジ」 一人一人の確かな伸びを実感でき、なりたい自分に一步步近づく教育

◆4つ目の「C」 → 「Connect：コネクト」つなげる

- 児童と児童をつなげる教育活動
 - 児童と教師をつなげる学習活動
 - 教師と教師をつなげる共通行動
 - 家庭と学校をつなげる信頼活動
 - 各関係機関とつなげる支援活動
- Connect Support Center の設置
教育相談、特別支援、養護教諭を中心に、登校渋りや不登校児童と家庭への総合的なピアサポート
ふれあい相談員、SC、SSW、子相
児童相談書、通級指導教室、所沢市立教育センター
★相談室（〇〇room）の有効活用

- コミュニティスクールの創設
学校運営協議会制度を導入した学校
TSN：椿峰スクールネットワーク
「みらい会議（仮称）」の実施
PTA、学校応援団、自治会、まちセン
民生委員、児童委員、行政、民間企業
学童、児童館、上山口中学校、山口小
保育、幼稚園等の組織が連携・協働を
繰り返しながら学びの好循環を生み出す
仕組みづくり。
社会総掛りで子供を育て、全ての人の
自己有用感を高めることを目指す。
★地域とともにある学校づくりが start

◆目指す児童像 体と頭と心をきたえ、未来に向かってがんばろう

- (1) だれにでもあいさつができる子/元気なあいさつ椿小じまん
- (2) 健康に気を配り、自ら心身をきたえる子/コツコツときたえた体は宝物
- (3) 目標をもち、根気強く最後まで頑張る子/4つのスイッチ ON
- (4) お互いに認め合い、協力し合える子/オアシス行動の習慣化
- (5) 自ら課題を持ち未来を切り拓く子/自己選択・自己決定の積み重ね

◆ 目指す教師像 子供の関心に、関心をもとう

- (1) 子供から学び、信じ、任せ、自立した学び手を育てる教師/信頼をベースに
- (2) 自分の強みを自覚し、新たなチャレンジを続ける教師/自分のやりたいを大切に
- (3) 誇り高き崇高な使命をもち、子供たちに寄り添い続ける教師/伴走者として
- (4) お互い様、助け合いの精神をもち、心身ともに健康な教師/まずは対話の量
- (5) 教育公務員として、学校に関わる全ての人から信頼される教師/事故の根絶

◆ 目指す家庭・地域像 子供にとって「帰りたい家庭」「住みたい地域」へ

- (1) 「すべては子供たちの未来のために」を第一に考える温かい家庭・地域
- (2) 子供のチャレンジと成長、そして自立を温かく見守る家庭・地域
- (3) 信頼をベースとして、学校とパートナーシップ関係にある家庭・地域
- (4) 大人の背中で子供に手本を見せる家庭・地域
- (5) コミュニティスクールを核として、学びの好循環を生み出す家庭・地域

◆ 椿峰小学校 重点目標と必須大要 日々の研究と修養を原点として

1 確かな学力の育成

- 「学び創造アクティブ plus」推進
- 基礎的・基本的な知識技能の定着
- 主体的、対話的で深い学びの視点に立った授業改善
- 非認知能力の育成
- 各種学力調査の結果考察の活用
- ICT 機器を有効活用した学習
- 家庭学習の習慣化

2 豊かな心の育成

- 元気なあいさつ椿小じまん
- 道徳科の授業の計画的な実践
- 人権教育、福祉教育の充実
- 読書活動の奨励と読書指導
- 花いっぱい学校
- 縦割り活動による望ましい人間関係の育成
- 体験的な活動の充実

3 健やかな体の育成

- 3つの「C」を大切にしたい体育学習
- 運動（体育）が大好きになる活動
- 教師と子供による外遊びの奨励
- 規則正しい生活習慣の確立と各保健指導
- 自ら健康管理ができる子供と教職員

4 生徒指導、教育相談、特別支援教育の充実

- いじめ見逃し0、解消までの指導・見届け100%
- カウンセリングマインドに立った児童理解
- CSC の活用による総合的なピアサポート
- 特別支援 C を核とした就学相談等の充実
- 基本的生活習慣の確立

5 安全安心な学校

- 危機管理マニュアルの見直しと整備
- 施設設備の日常、定期、臨時点検
- 交通安全指導の徹底
- 実践的な避難訓練の実施

6 家庭・地域との連携

- 学校運営協議会を軸にした学校運営
- PTA・学校応援団との連携強化
- 小中、幼保小との連携強化
- HP、YouTube の活用による情報発信